

おめでとうございます!!



祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.18

大学の講義などでSDGsについて触れることが多く、その中でエンカル消費を学び、私たちがあたりまえのように購入し使用している物が、実は環境に悪影響を及ぼしていることがわかりました。

プラスチック製品は使いやすいため、歯ブラシやストローなどに使用されています。しかし、これらのゴミが原因でマイクロプラスチック問題が起きています。海水を汚すだけでなく、魚が誤ってプラスチックを飲み込んでしまい死に至ることも多々あり、この現状を改善するためにも「脱



私は家族や友人などの身近な人から普段の生活で使用する物・購入する商品の

食品ロス削減の取り組みを進めていきます。店内に産直コーナーがあり、産直

◎目標12「つくる責任つかう責任」。

食品ロスを減らす取り組みを進めていきます。店内に産直コーナーがあり、産直



災害に対する準備をします。東日本大震災時、食料や物資の調達に苦労しました。店として、米、水、ガスは確保しており、当時はおにぎりの供給をしました。今後、食料中心に備蓄していきます。住んでいる地区の飲料水は井戸水がほとんどで、停電時でも使える水道が多く水は確保しやすいです。さらに自家発電機設置済みのガソリンスタンドを活用し、災害時に燃料の供給をします。

今回のテーマは「男性も女性も育休の時代へ」。男性の育児参加を高めるためにも男性が育休を自然に取得するにはどうしたらよいかを話し合いました。

グループワークの中で、育休取得がしづらい原因として挙げられたのは、「業務内



「当事者ではない自分にとって、育休は他人ごと」。この考え方はやめようと思



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業
募集中!!

【申し込み・問い合わせ】
河北新報社営業局
TEL. 022-211-1318
koukoku@po.kahoku.co.jp

当事者ではないからこそ「自分ごと」に

尚絅学院大学 菅井百花さん

容上取得しづらい「周りにロールモデルがない」など。これらを解決するためには、当事者ではない人たちが考えていく必要があると感じました。

「当事者ではない自分にとって、育休は他人ごと」。このように考える人は、きっと私だけではないと思います。しかし、私はこの考え方を要する必要性を感じました。これは育休の問題に限らず、当事者ではない人たちが他人ごとではなく自分ごとにすることで、誰もが生活しやすい世の中になっていくのではないのでしょうか。

当事者ではないからこそ「自分ごと」にする、そのような生活を送っていきます。



丸森のSDGs活動新宣言 身近な丸森町から改善しよう

いなか道の駅やしまや 八島哲郎さん

の会員と消費者双方に働きかけ、フードロスを減らしていきます。具体的には、生産者には捨てる野菜を減らす働きかけをします。消費者にはフードロスになる前に購入を促します。店でも産直の野菜を中心に食事を提供しています。

◎目標15「陸の豊かさも守ろう」。

農業を生業としています。畑で作物を作り、植物が二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する好循環を進めていきます。

竹林の保全、柿の栽培を通じ、緑の面積を守っていきます。竹林の間伐材をチップ化し、竹林や柿畑にまくことにより、化学肥料の使用を減らします。



身近なところから意識改革を

尚絅学院大学 奥山瑞己さん

「プラ」の意識を持たなければいけません。実際にスターバックスコーヒーではプラスチックゴミを削減するために紙製のストローに変更する対策をしています。また、私自身も毎日歯ブラシを使用するのですが、歯ブラシを捨てる度にプラスチックゴミが発生してしまうことを考慮し、持ち手が全て竹でできた竹歯ブラシを使用するようになりました。

人は急に大きな変化を求められても対応することが難しいと思います。そのため、まずは身近なところから手を出しやすいもので少しずつ意識改革をしてもらうように案内していきます。

